

《第134回》 令和六年八月の作品

〈八月九日（金） 於・文京区民センター3E〉

みだれなき友の手紙や今朝の秋 (一江)

駅に向ふ男日傘の急ぎをり (隆治)

観音の耳元過ぐる夏の風 (前歩)

姨捨の棚田を照らす月白し (正佳)

球児らの泥んこ顔に玉の汗 (貴美)

訝して鎮守の杜の盆踊 (孝昭)

ふるさとにゐて恒例の盆準備 (奉男)

華やかに五輪開幕巴里の夏 (正雄)

大輪のカサブランカの香りかな (平六)